



江戸川区発達相談・支援センター主催  
【児発・放デイ向け】

## 発達支援地域事例検討会

～特性に合った支援・環境・連携をともに学ぶ～



開催日:令和4年3月16日  
主催:江戸川区発達相談・支援センター

# 本日の流れ(9:30ー12:00)

- 9:30-9:45 アイスブレイク
  - 9:45-10:50 問題解決ワークショップ
- 休憩
- 11:00-12:00 事例検討

# 江戸川区発達相談・支援センター



- 平井駅から徒歩8分
- 区立小松川幼稚園の跡地に2020年4月開設



発達に特性のあるすべての人が  
自分らしく豊かに暮らせる地域づくり

ライフステージに応じた  
切れ目のない  
相談・支援を  
行います

# センターの概要



発達障害相談  
センター  
対象：全年齢

・アセスメント・連携・  
環境調整を行う。

発達相談室  
なないろ  
対象：  
18歳未満

支援者支援

相談支援

保育所等訪問

児童発達支援センター  
対象：未就学児

療育事業  
(1日定員32名)

個別

保護者支援

集団指導

連携

# 一人で悩まずに… まずはお電話ください☎



**18歳未満**の方の発達  
に関するご相談

**18歳以上**の方の発達  
に関するご相談



**まずはお電話ください**  
「発達相談室なないろ」

☎ 03-5875-5101  
月～金 9:00～17:00  
(祝休日・年末年始を除く)

**まずはお電話ください**  
「発達障害相談センター」

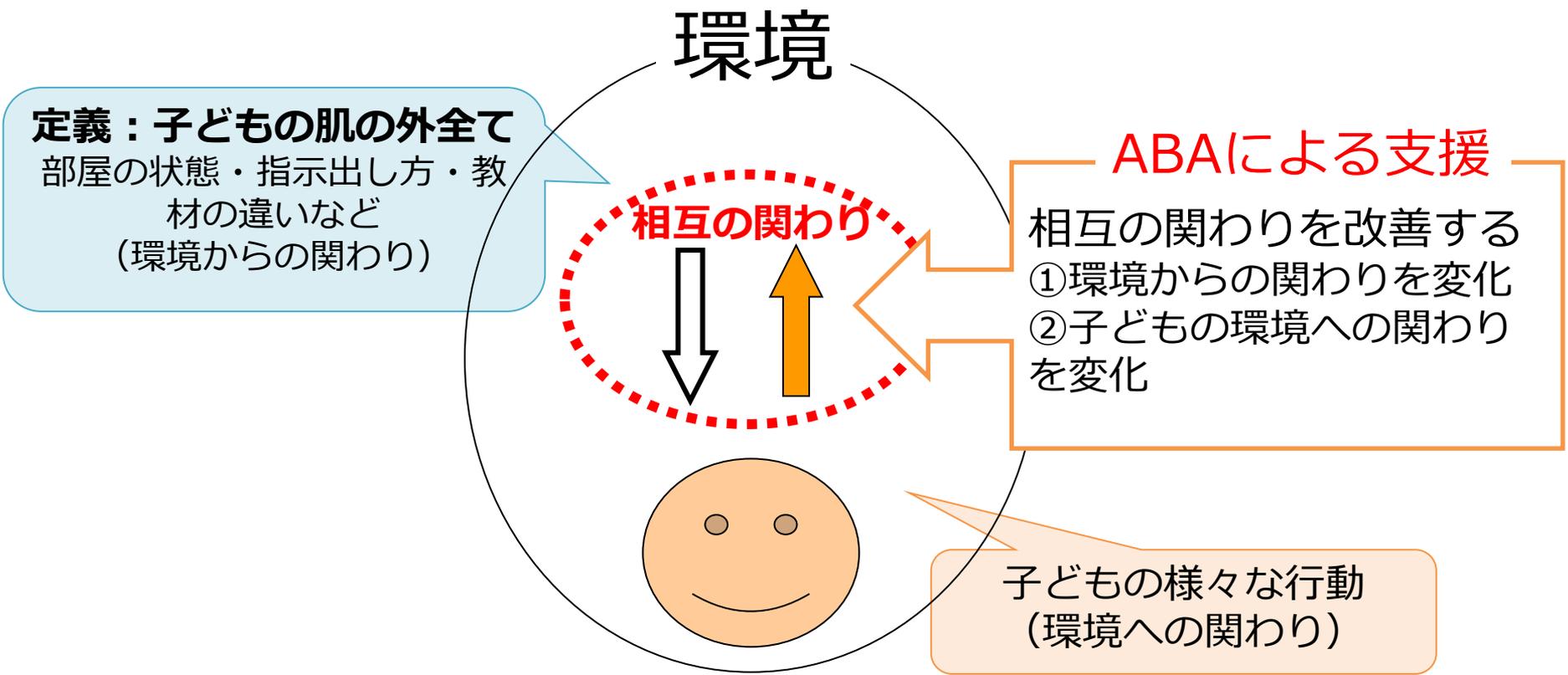
☎ 03-5875-5401  
月～金 9:00～17:00  
(祝休日・年末年始を除く)

江戸川区発達相談・支援センターでは、  
専門の相談員が丁寧にお話を伺います

# 応用行動分析 (Applied Behavior Analysis)

## ● ABAとは

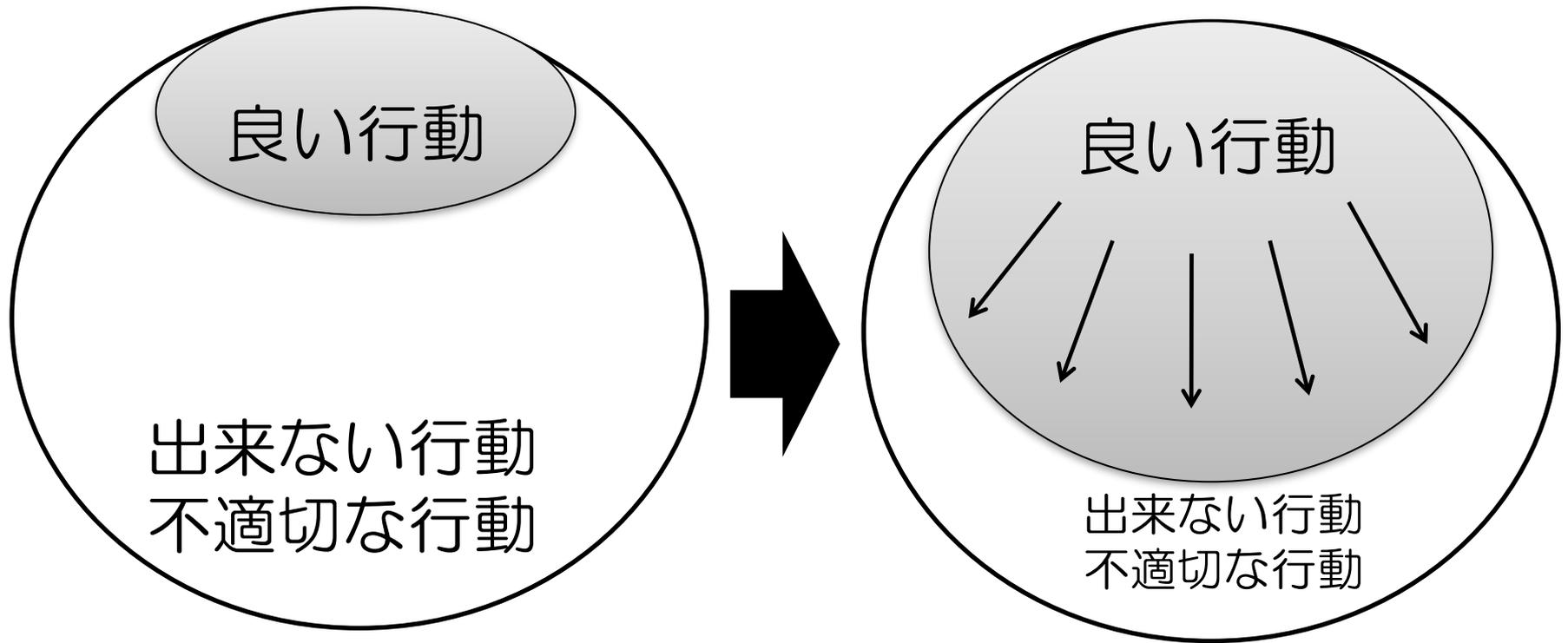
- ・ 行動の法則性を明らかにする基礎学問「行動分析学」から派生した心理学。
- ・ 行動の原因を「本人の心の中」でなく、「個人と環境の関わり」に求める。



～問題解決ワークショップ～  
情報収集と対応策の立て方

# お子さん支援する際の視点

悪い行動には注目せず、良い行動を増やす



良い行動を学習することで、相対的に不適切な行動やできないことが少なくなる、と考えます。

# なぜ「ほめる」ことが大切か

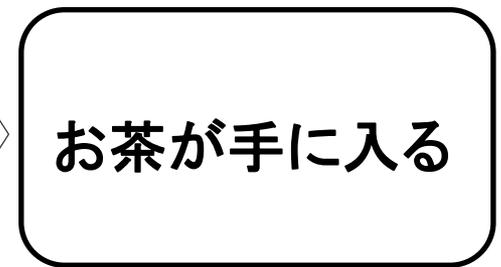
行動の前の出来事



行動



行動の後の出来事



行動の増加



行動の学習の原理

=ある行動の結果、良いことが起きると、その行動が増加していきます。

# なぜ「ほめる」ことが大切か？

行動の前の出来事

幼稚園の先生に  
「おはよう」と言わ  
れる

行動

「おはよう」と  
言う

行動の後の出来事

「元気に挨拶でき  
たね」と褒められる

行動の**増加**



行動の学習の原理

=ある行動の結果、良いことが起きると、その行動が増加していきます。

# 悪い行動に着目するデメリット



悪い行動をなくすために叱る

**適切な行動の学習機会なし**

→褒められる機会がない

→別の悪い行動が出てくる

悪循環、信頼関係のゆらぎ

**適切な行動を引き出す→**

**褒めて増やす**

**ポジティブな循環へ**

# はじめに

## 「困った行動」とは？

- ◆ 特定の「行動」が問題行動というわけではない。
- ◆ 誰にとって、なぜ、「困った」行動なのか？

### 迷った時のチェックポイント

- 本人や周囲にとって危険があるか？
- 本人や周囲のお子さんの学習機会を奪っているか？



行動の理由を分析し、本人のスキルや周囲の人の関わりなどを含め、総合的に考えて対応策を講じましょう

テキスト38-47P参照

# 強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)(実践研修)の位置づけ

## 強度行動障害支援者養成研修(実践研修)

### ①アセスメント

行動観察・情報収集  
障害特性の理解

行動の  
分析  
理解

・本人が困っていること  
・本人ができる事、強み  
・本人の特性  
の把握

### ②支援の計画 (支援の手順書)

- A. 本人の困難を軽減したり取り除く
  - B. 本人ができること、強みを活用する
- ※ 支援計画は場面ごと、工程ごとに丁寧に作る必要がある。

A, Bを組み合わせた具体的なツールの作成や構造化、環境調整などの支援計画の立案  
支援の方向性は基本に忠実に  
具体策やツールは個別化する

### ③支援

・障害特性の理解 ・支援の手順書に基づく支援 ・日々の記録等

支援の結果等のフィードバック

## 強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)

# まずは、情報を集める

## 行動前の出来事

- ・いつ
- ・どこ
- ・だれ
- ・なに
- ・どんなふうに
- ・環境

## 行動

- ・どんな行動か
- ・強さは
- ・頻度は
- ・周囲の感覚

## 行動後の出来事

- ・いつ
- ・どこ
- ・だれ
- ・なに
- ・どんなふうに
- ・環境

## お子さんのこと

・

## その他のこと

- ・施設の部屋の状態
- ・施設の文化
- ・記録の有無
- ・過去のエピソード

# 問題行動対処の3原則

- ①現状で出来ている行動を見つけ・褒める
- ②事前の工夫で未然に防いで、褒める
- ②困った行動に代替する新しい行動を教える

# ①出来ている行動を見つけ、褒める

- ・授業中に、手を挙げずに答えをいってしまう



皆に考えて欲しいのに、  
困るなあ

どこを褒めますか？

# 事例

小学校1年生。広汎性発達障がいの診断。男児。

授業中に着席していることは出来るが、ぼーっとしていることも多い。

特に、国語など苦手な授業の際、鉛筆や消しゴムなどの手いじりが激しく、時々奇声をあげることがあるので、その度に近くまで行き、叱ったり、課題を手助けしたりしている。

叱った直後は止むが、またしばらくすると同じ行動を繰り返すため、困っている。

# 何をほめていますか？

行動の前の出来事

行動

行動の後の出来事

苦手な国語の授業

手いじり、奇声

先生に叱られる  
(注目)  
課題の手助け

行動の増加

静かに着席

手いじり、奇声

# 事例

小学校1年生。広汎性発達障がいの診断。男児。

授業中に着席していることは出来るが、ぼーっとしていることも多い。

特に、国語など苦手な授業の際、鉛筆や消しゴムなどの手いじりが激しく、時々奇声をあげることがある。そのため、静かに座っていただける授業前半からこまめに声をかけ、座っていることを褒めたり、課題に取り組めるよう手助けを増やして対応している。時々奇声や手いじりが出るが、その際は軽く手を抑えて淡々と対処し、また静かに出来ている時に声をかけるようにしたところ、徐々に困った行動が減ってきた。

# 何をほめていますか？

行動の前の出来事

行動

行動の後の出来事

苦手な国語の授業

静かに着席

先生に褒められる  
課題の手助け

行動の増加

静かに着席

手いじり、奇声

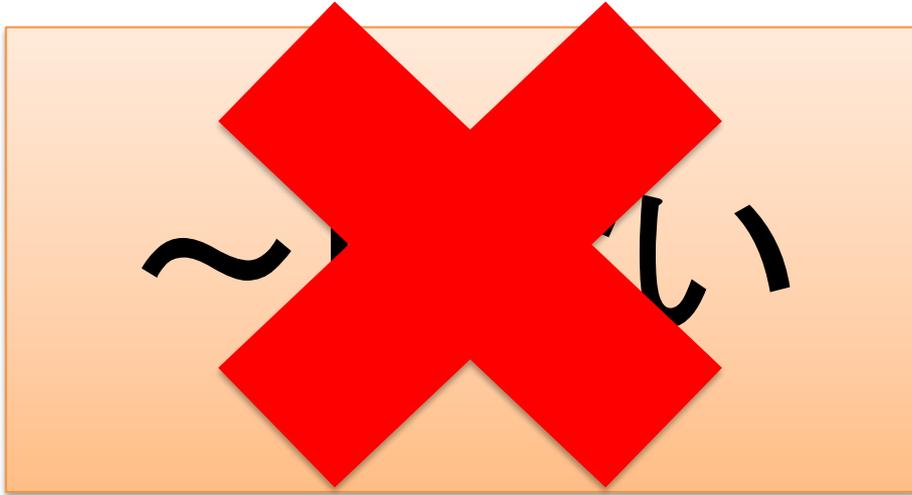
静かに着席

手いじり、奇声

# どこをほめますか？

- 外遊びは元気に参加するが、お絵かきや絵本読みではやる気がない
- 友達と騒いで、先生の話を受けない
- お友達の遊びを邪魔して泣かせてしまう
- 課題を白紙で出す
- 字が汚く、読めない

# どんな行動を引き出しますか？



否定形は、行動ではない

ポジティブ & 具体的な行動を目標に

~する

# 「悪い」行動を裏返す

- ・授業中に立ち歩くお子さんがいたら、、、

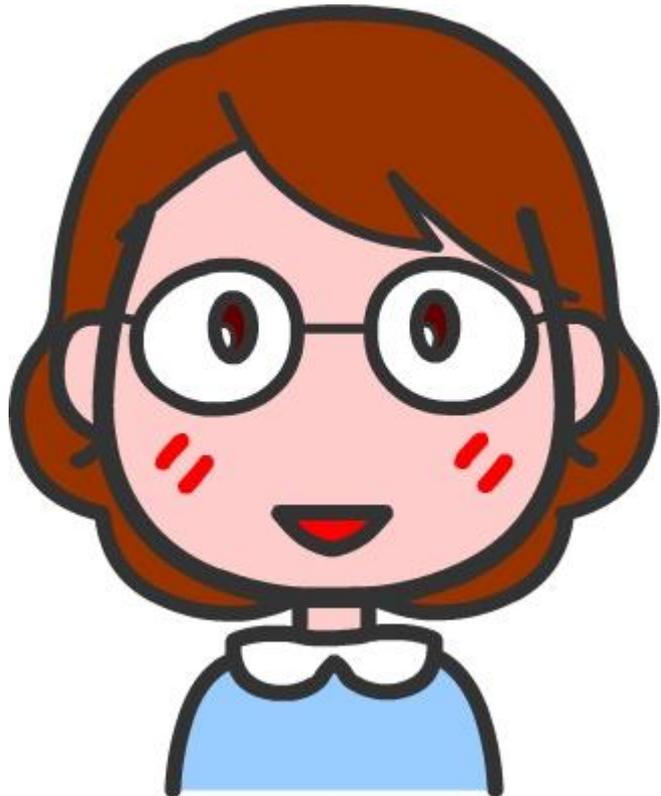


立ち歩かないで  
欲しい

座って授業を聞  
いて欲しい

# 「悪い」行動を裏返す

- ・お友達を叩いてしまうお子さんがいたら、、



お友達を叩かないで欲しい

玩具を貸してあげられるといいな

# 「悪い」行動を裏返す

- ・忘れ物が多いお子さんがいたら、、、



忘れ物をしないで欲しい

連絡帳に持ち物を書いて欲しい

# 適切な行動をスモールステップ化



まずは一緒に書いてみよう

まずは得意な科目だけでも



興味の薄い玩具ならできるかな



# 問題行動対処の3原則

- ①現状で出来ている行動を見つけ・褒める
- ②事前の工夫で未然に防いで、褒める
- ②困った行動に代替する新しい行動を教える

適切な行動を引き出すには

行動の前のきっかけをかえる

= 不適切な行動を未然に防ぐ

# 何をほめていますか？

行動の前の出来事

おやつがもっと欲しいのに「もうおしまい」と言われた

行動

「やだやだー」と大騒ぎする

行動の後の出来事

「仕方ないなあ、これで最後ね」と、もう一つもらえた

行動の増加

# どうやってほめますか？

行動の前の出来事

行動

行動の後の出来事

おやつがもっと欲しいのに「もうおしまい」と言われた

「やだやだー」と大騒ぎする

「おしまい」と確認して、あとは相手にしない

行動の減少

- 「今日のおやつはこれだけ」と予め約束する
- 「おやつ終わったらビデオ見ようね」と楽しい活動に誘う

約束の量でおしまいにする

「我慢できて偉い！」と褒められ、大好きなビデオが見られる

行動の増加

# 何をどう構造化するのか

- 構造化したい6情報
  - 「いつ」「どこで」「何を」「どのくらい」
  - 「どうやって」「次は」
- 6情報を4つの視点に整理して構造化
  - 時間の視点（生活の見通し）
  - 場所の視点（活動との対応・刺激の整理）
  - 方法の視点（やり方・ヒント・着目・終わり・次）
  - やりとりの視点（コミュニケーションツール）

# 行動前のきっかけの工夫例

- 環境整備：
  - 生活リズムやパターンの調整
  - 物や人の配置
  - 視覚的な構造化
  
- 分かりやすい先行刺激：
  - 視覚的な手掛かり
  - スケジュール等の見通し
  - モチベーションを高める

# 事前の工夫の例

- ルールやお約束を示し、本人に確認させる  
「終わりって言われたら？」→「片づける」  
「いつまでやる？ ●分まで？ △分まで？」→「●分まで」
- 好きな活動と組み合わせた見通し  
「～の次はお弁当食べようね」と好きな活動を予告しておく
- やることを簡潔に提示する  
「ブロックはここに入れる」「椅子を～に運ぶ」「～くんの後ろに並ぶ」
- モデリングをふんだんにいれる  
「先生もお片付けしようっと」「こうやって遊ぶと楽しいね」などモデルを示す

# 事例 中学生男子1年

行動の前の出来事

苦手な数学の  
授業中

行動

勝手な退室

行動の後の出来事

休憩できる  
先生が追いかける、  
叱る

行動の増加

# 事例

行動の前の出来事

行動

行動の後の出来事

苦手な数学の授業中

勝手な退室

淡々と静止

行動の減少

信頼関係の構築

→徐々に目標分数をUP

→退室なし

憩

目標頑張ったね、と褒める

行動の増加

- ・着席している状態を褒める
- ・簡単な問題で当てる
- ・離席の時の合図を決める
- ・〇分は頑張ろう、と目標を立てる

許可のも

# 何をほめますか？

行動の前の出来事

授業中、プリント  
を書き終わってや  
ることがない

行動

隣の友達にちょっ  
かいを出す

行動の後の出来事

友達に嫌がられる  
先生に叱られる

行動の増加

# 何をほめますか？

行動の前の出来事

行動

行動の後の出来事

授業中、プリント  
を書き終わってや  
ることがない

隣の友達にちょっ  
かいを出す

席を離す  
淡々と対応

行動の減少



・書き終わる直前に  
声をかける  
・友達との席を少し  
離しておく  
・終わった人は読書  
をして待つルール

座って待つ

・待てるね！  
・好きな本を読める

行動の増加

# ほめ方のバリエーション



褒め  
言葉

好き/得意  
な活動

休憩

ジェス  
チャー

人から  
の注目

話題

マーク

身体  
接触

# ほめ方例 トークンシステム

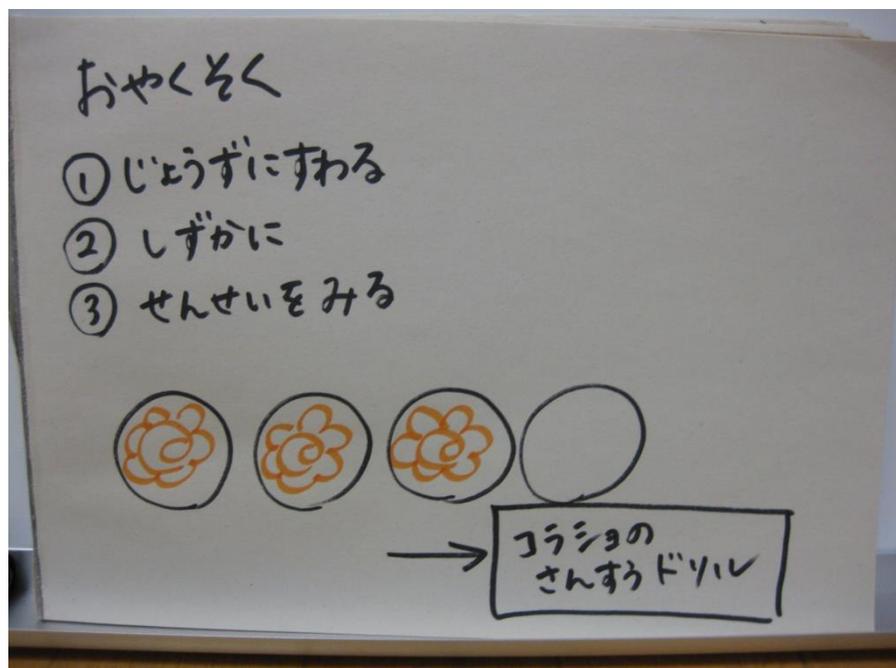
- 一緒に目標を決め、達成できたら、どうするか、決めておく(本人と相談して決めても良い。)

## \*トークンシステム

集めると好きな活動と交換できるポイントのような働きをするシステム

### <メリット>

- 褒めやすい
- 今どこまで進んでいるのかが視覚的に分かりやすい



## • トークン使用の際のポイント

- 始めは比較的簡単にもらえるようにする
- 先にたまった後の活動や強化子を知らせておくor相談で一緒に決める
- トークンの数は、2, 3個から始めて、少しずつ増やしていく。

# 問題行動対処の3原則

- ①現状で出来ている行動を見つけ・褒める
- ②事前の工夫で未然に防いで、褒める
- ③困った行動の機能を見極め、代替行動を増やす

# 行動の機能を見極める



現状の対応を変え、  
同じ機能の別の行動に置き換え・増やす  
ためには、なぜその行動をするのかを  
分析する必要があります。



# ABC機能分析

行動の前後で何が起きているかを  
分析し、行動の機能を明らかにする方法。  
問題行動はコミュニケーションの一つととらえ、  
機能に見合った対処をします。

## 問題行動の4つの機能

- ①注目 ②回避 ③要求 ④感覚

\* 殆どは複合的

\* 行動が何で終結しているかがヒント

# 問題行動の機能①



## 注目

他者からの反応や、注目を要求して起こる行動

ななこちゃんのお母さんは、ななこちゃんが頻繁に物を投げるので困っています。この間は、お母さんが電話で話している時に、リビングにいたななこちゃんが、はさみを投げたので、お母さんは電話を中断して、「あぶないでしょ！」叱りに行きました。

今日も、お母さんが弟のおむつを替えていると、床にあったおもちゃを放り投げたので、怒ったお母さんは、ななこちゃんのところまで行き、叱りました。

どんなに叱っても、ななこちゃんが物を投げる行動は、一向に減る様子がないので、お母さんは疲れてしまっています。



# 問題行動の機能②



## 回避(エスケープ)

困難な課題や嫌いな物事からの逃避

けんた君のおうちに通うセラピストさんは、けんた君が、セラピー中に歌を歌うので困っています。歌い始めたときは、「お口とじて」など、指示をしますが、歌をやめないなので、けんた君が歌っている間は課題を中断せざるを得ません。最近では、課題をなかなか進めることができず、セラピーの流れが滞っています。



# 問題行動の機能③



## 要求

欲しいおもちゃや、食べ物などの要求

あやちゃんは、何かあるごとに自分の手を噛むので、手はいつもケガだらけでお母さんはとても困っています。

昨日も、ご飯の時間なので、

あやちゃんのお気に入りのおもちゃを棚に片付けたとき、

かんしゃくを起こして自分の手を噛んで騒ぐので、

仕方なくおもちゃを返し、おもちゃを持ったままご飯にしました。

噛んだときは欲しいものをあげて、静かにさせているのですが、

なかなか手を噛む行動が減らないのが

家でも、幼稚園でも問題になっています。





# 問題行動の機能④

## 感覚

### 知覚的な刺激の獲得

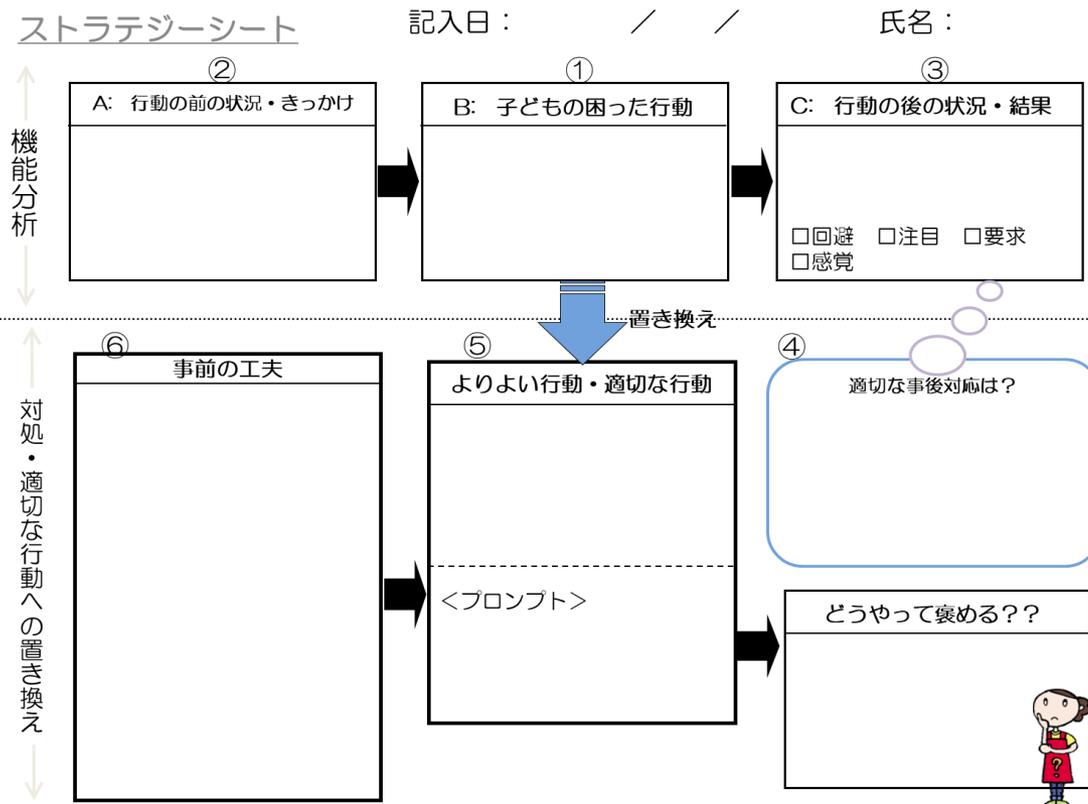
たけるくんは、独り言を言うことが多く、家でも幼稚園でも、電車の中でも、独り言を言っています。テレビのコマーシャルのセリフのときもあれば、不思議な無意味語を繰り返しているときもあります。叱っても減らず、放っておいても減らないので、お母さんはすっかり対応に困っています。



# ストラテジーシート作成ワーク



テキストP38-43 困った行動への対処2-A  
P44-47 困った行動への対処2-B 参照



# ストラテジーシート作成

## 【例題】

・4才、男児。夕方、食事の準備をしている時間に、突然大声で叫びながら弟にかみつく。たいてい、一人で遊んでいる途中や、DVDが終わった時のような気がする。やめなさい！ととめるとすっと落ち着くが、なぜ急に弟を攻撃するのか分からない。声掛けをしても少しするとまたかみつこうとするので、家事が進まなくて困っている。

# ストラテジーシート

記入日：            /            /

氏名：

機能分析  
↑  
↓  
対処・適切な行動への置き換え  
↑  
↓

②

A: 行動の前の状況・きっかけ

---

--



①

B: 子どもの困った行動

---

--

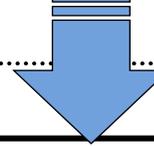


③

C: 行動の後の状況・結果

---

回避    注目    要求  
感覚



置き換え

⑥

事前の工夫

---

--



⑤

子どもの適切な行動

---

<プロンプト>

---



④

どんな対応をするべきだった？

どうやって褒める??

---

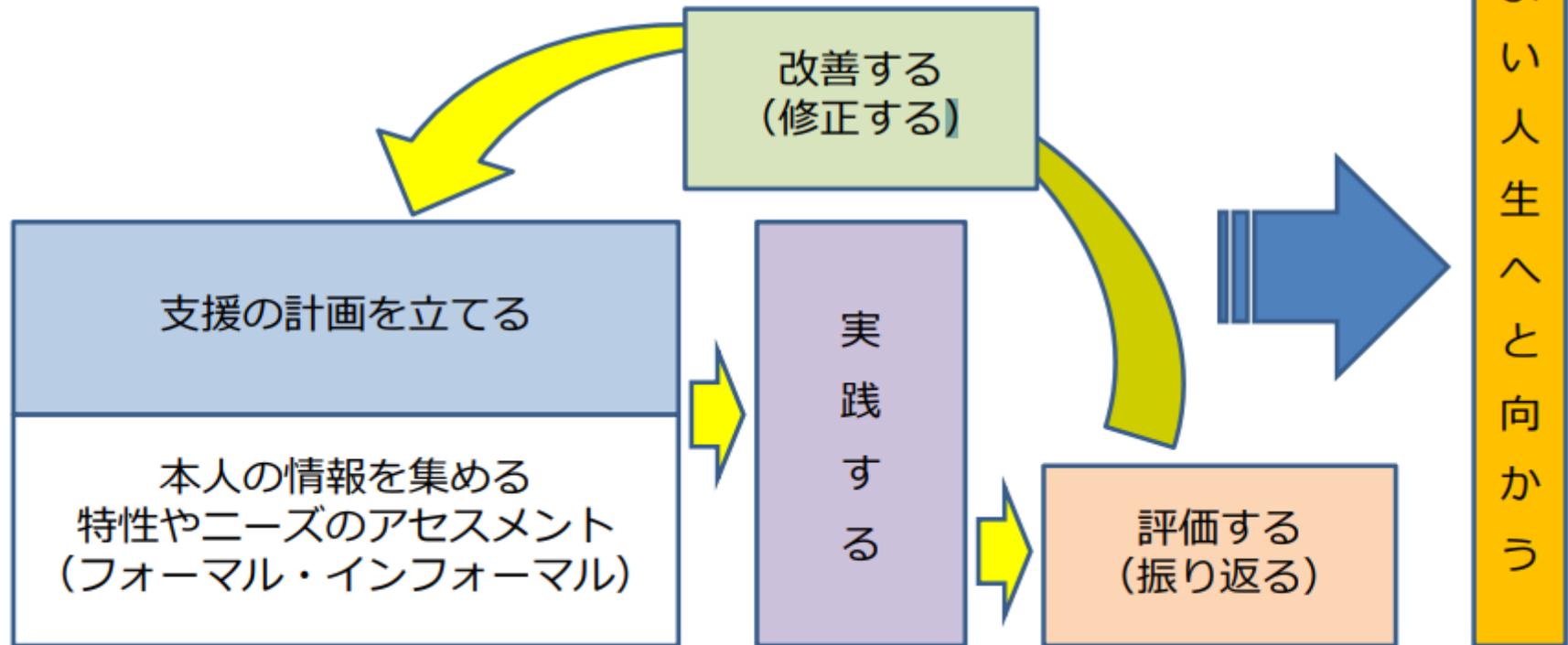
--



# 支援の道筋 その2

予防的で基本的な支援をベースに、  
プラスアルファの取り組みをするが、そこにもPDCAサイクルはある

強度行動障害の支援



予防的で基本的な支援